



50000-XKH-K1S0 EDIX SPORTS SUSPENSION

取付・取扱説明書

この度は、無限製品をお買い上げ頂きありがとうございます。

このキットは、ホンダ エディックス (DBA-BE3) 専用に設計したものです。

安全にドライビングを楽しんでいただくために、以下の注意点を正しくご理解の上、ご使用くださいますようお願い申し上げます。

取り付け後は、本書を必ずお客様にお渡しください。



注意

1. サスペンションの装着は、ホンダディーラーもしくは専門の整備工場等（認証工場）で行ってください。

※サスペンションの取り外しに際して、ブレーキ関係の部品を外す場合、分解整備の対象となるため、認証工場にて交換作業をしてください。

※本書の作業内容は、自動車整備士及び整備についてある程度の知識を持った方を対象としています。経験のない方のみでの組み付け作業は、ケガや事故または走行中の車両トラブル等をまねく恐れがあり、大変危険ですので、絶対に行わないでください。

2. 本製品の装着により、車高が下がりますので（約25mm）、縁石、駐車場の車両止め、段差や凹凸路面の通過時は、接地しないよう十分ご注意ください。
3. 本製品は、ホンダ エディックス 2.0L FFモデル（DBA-BE3）への装着を目的として、保安基準に適合する仕様で開発された商品です。適合車種に正しく装着された場合は、改造申請は不要ですので、装着したまま車検を受けられます。
4. ヘッドライトオートレベリングシステムについて

エディックス 06Mモデル（DBA-BE3 110～）ディスチャージヘッドライト装着車には車両の姿勢変化に応じて自動的にヘッドライトの光軸を最適化するオートレベリング機構が装備されています。本製品の組み込みにより設定車高が下がる為、専用機材のあるホンダディーラー等でヘッドライトの初期位置学習（本田技研工業㈱発行 エディックス サービスマニュアル 構造・整備編15-39項参照）を行って下さい。この作業を行わないとヘッドライトの照射範囲が変わり夜間走行時の視界が十分確保できない場合があります。

5. 本製品の加工や分解、組み付け不良、誤使用による不具合・事故等については、弊社は一切責任を負いませんのでご了承ください。
6. 経年変化等により、サスペンションの機能を十分果たさないと判断した場合は、販売店に相談し、新品に交換する等してください。

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

株式会社 M-T E C 商品事業部 営業課

【営業時間 9:00～18:00】

Tel. 048-462-3131 Fax. 048-462-3121

【仕様表】

※車高は約25mm下がります。車輛の装備、仕様により若干変わることがあります。

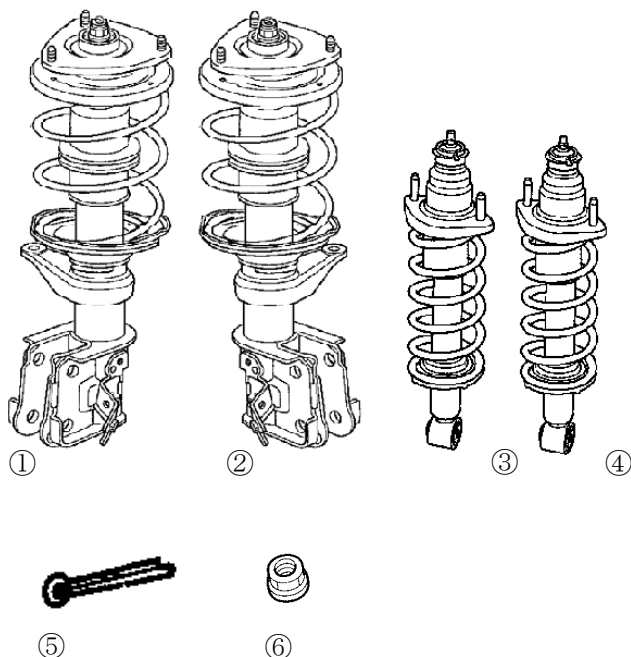
	減衰力（スタンダード比） 0.3m/s 時；伸び側／圧縮側	スプリングレート N/mm	適合車種 [型式]
フロント	143% / 114%	K=27.0 (K=24.5)	ホンダ エディックス [DBA-BE3]
リヤ	116% / 94%	K=60.8 (K=57.9)	

↑ () 内はスタンダード

【部品表】

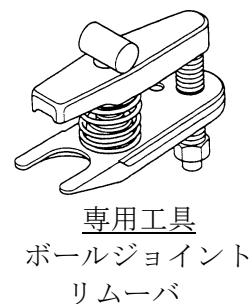
キット品番

50000-XKH-K1S0



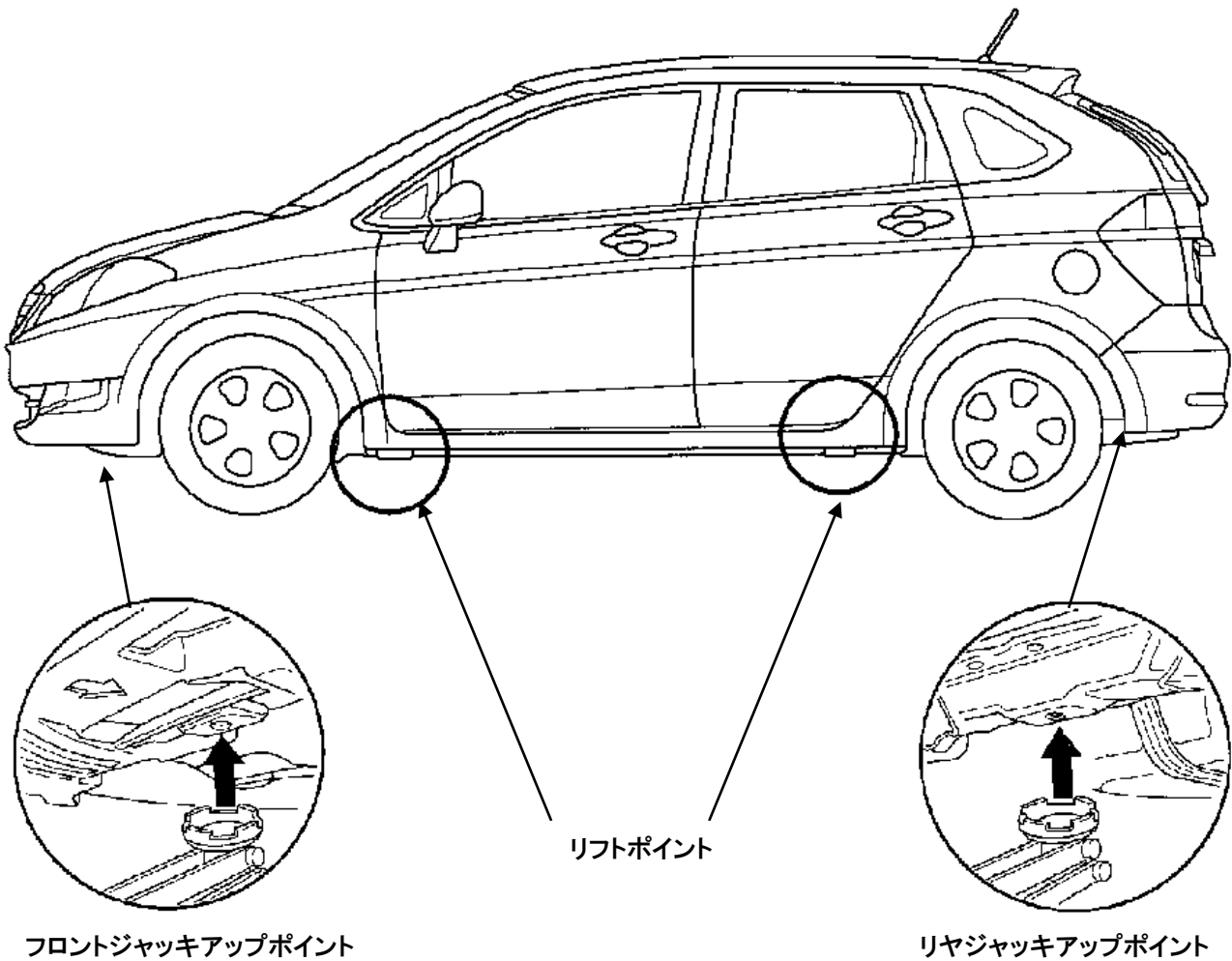
NO	構成品番	QTY
	品名	
①	51601-XKH-01S0 DAMPER ASSY R,FR	1
②	51602-XKH-01S0 DAMPER ASSY L,FR	1
③	52610-XKH-01S0 DAMPER ASSY R,RR	1
④	52620-XKH-01S0 DAMPER ASSY L,RR	1
⑤	割りピン	2
⑥	セルフロックナット 6mm	1

【必要工具】



取付準備

- ①各車輪のホイールナットを緩める。
- ②リフトアップまたはジャッキアップし、サイドシル補強部にリジットラックをあてがう。
- ③リフトアップまたはジャッキアップ状態の安全を確認する。



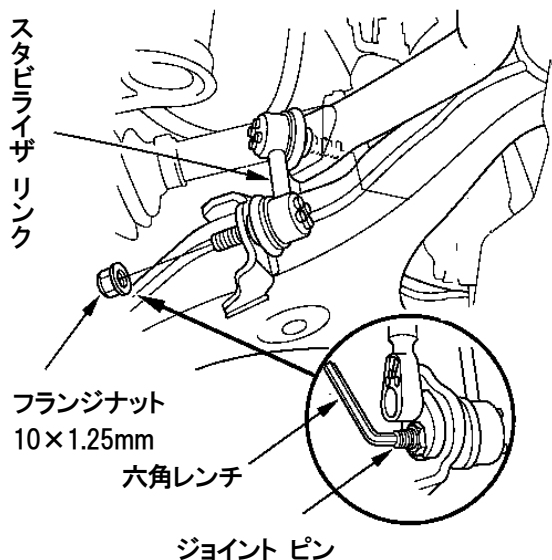
注意

- ・ 指定した位置以外でリフトアップしないこと。
- ・ ボディに傷をつけないように注意すること。
- ・ リフト使用時は、必ずリフトの取扱説明書を参照し、安全に注意して作業を行うこと。
- ・ ジャッキアップ後は、必ずリジットラックを使用すること。
- ・ 短時間の作業でもジャッキのみでの作業は絶対にしないこと。
- ・ ジャッキアップしたままで、車輦の下には入らないこと。
- ・ フロントをジャッキアップする時は、パーキングブレーキを必ずかけること。

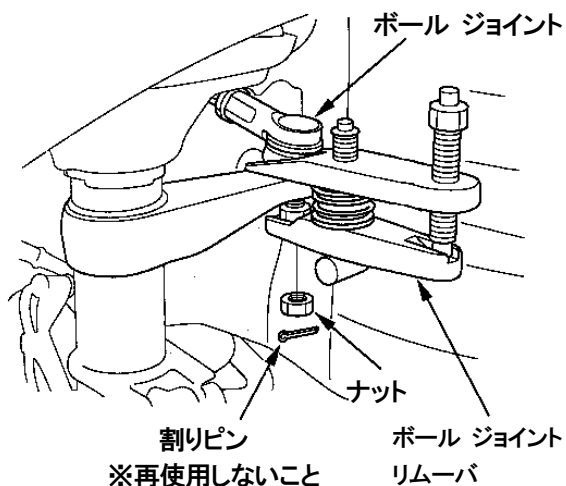
I. フロントダンパの車両への組み込み

STDフロントダンパの取り外し

- ①フロントホイールを取り外す。
- ②六角レンチでジョイント ピンを保持しフランジナットを外し、ロア アームとスタビライザ リンクの接続を外す。

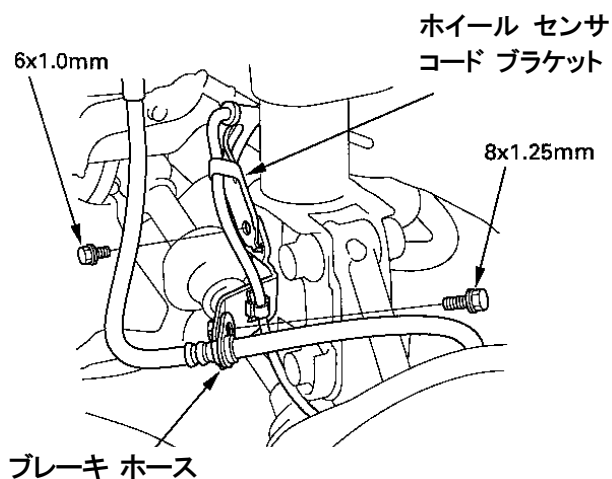


- ③タイロッド エンドのボール ジョイント接続部から割りピンを外してナットを緩めて、ナット端面とボール ジョイント ピン端部を同一面にして専用工具(ボール ジョイント リムーバ)でダンパとタイロッド エンドの接続部を外す。



- ④ダンパからホイール センサ コード ブラケット、ブレーキ ホースを外す。

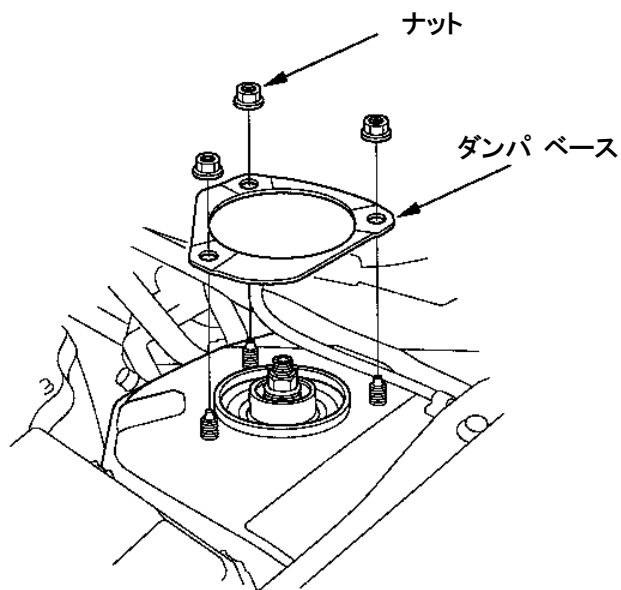
※ブラケットを変形させないこと。



※ダンパの接続を外す前に

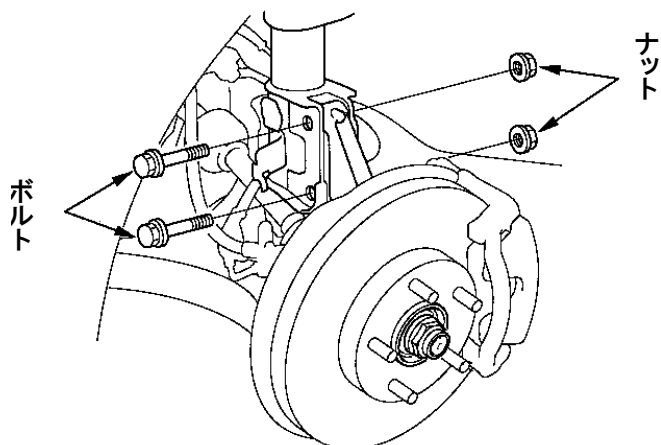
ダンパの接続を全て外すとナックルの接続部がナックル下端とロアアーム先端部だけとなり非常に不安定です。その状態でナックルを一定以上外側に傾けるとドライブシャフト インボード ジョイント部(エンジン側)のローラが抜ける恐れがあるので十分注意すること。

- ⑤ダンパ上部の取り付けナットを緩め、ダンパが落ちないように仮付けしておく。



⑥ダンパ取付けナットを外し、ダンパ取付けボルトを取り外す。

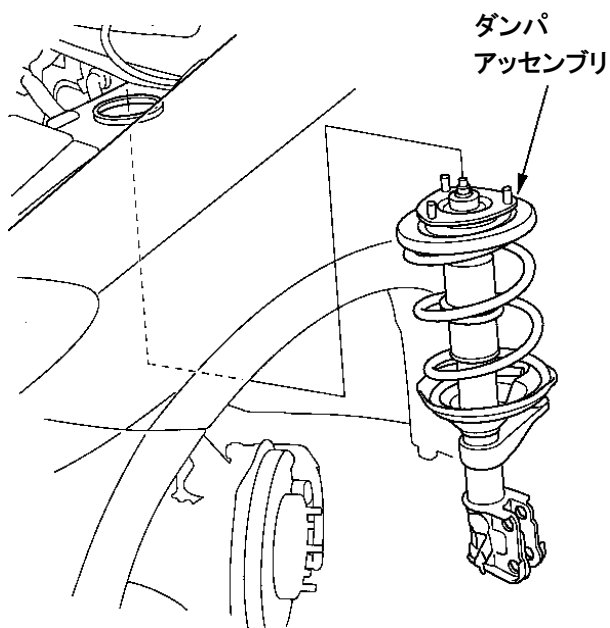
※ダンパが落下しないよう保持しながら行うこと。



⑦ダンパ上部の取付けナットを外し、ダンパ アッセンブリを取り外す。

※ドライブシャフトを抜かないようナックルを車体中央側に押し下げるとダンパを抜き取りやすい。

※ダンパを車体から外した状態で車から離れる場合、ドライブ シャフト インボード ジョイントが抜ける恐れがあるので、ナックルをタイダウン等で吊る等してナックルが傾かないよう固定すること。

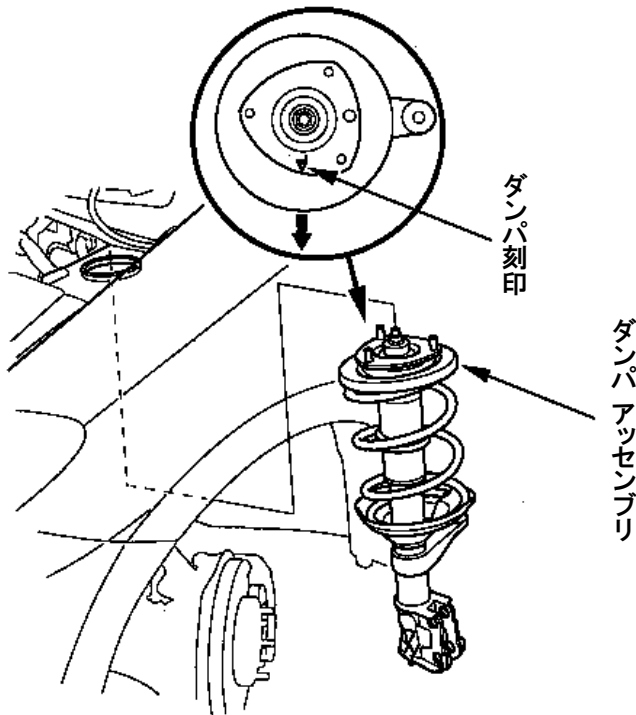


無限フロントダンパの取付け

- ①ダンパ刻印を車体外側に向け、ダンパ アッセンブリをボディに取付け、ダンパ ベースを取付け、ダンパ上部の取付けナットを仮締めする。

取付けナット トルク 44N・m[4.5kgf・m]

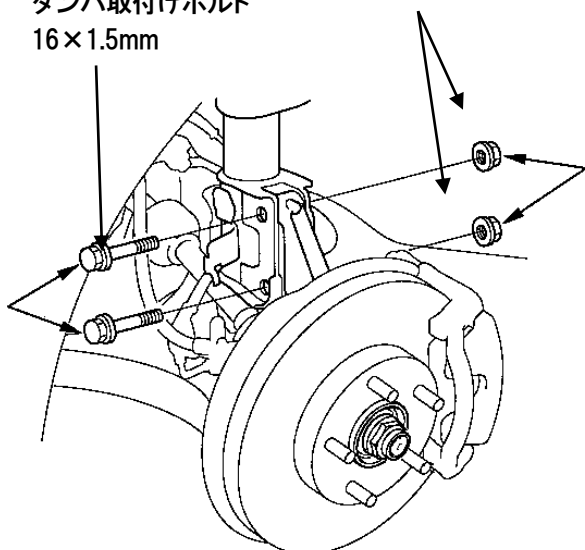
※ダンパを取り付けるときはドライブ シャフト インボード ジョイントが抜ける恐れがあるのでナックルが外側に倒れすぎないように注意すること。2人以上で分担して作業すると良い。



- ②ダンパ下部をナックルに取付け、ダンパ取付けボルトを差し込み、ダンパ取付けナットを仮締めする。

ダンパ取付けナット
16×1.5mm
157N・m[16.0kgf・m]

ダンパ取付けボルト
16×1.5mm



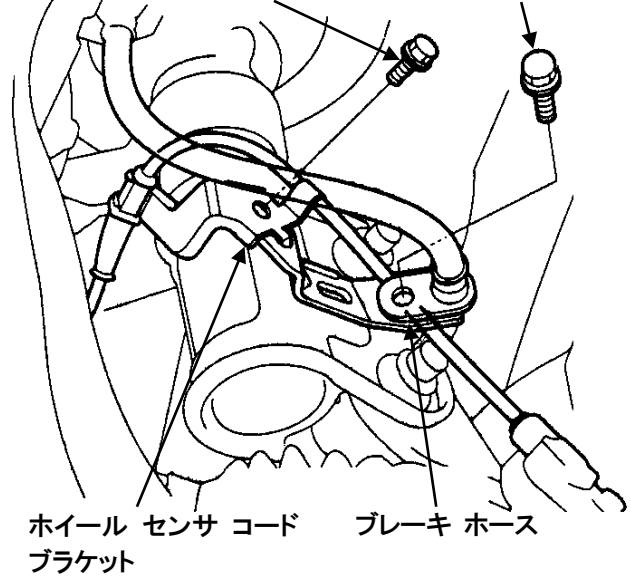
- ③ダンパにブレーキ ホース、ホイール センサ コード ブラケットを取付ける。

6×1.0mm

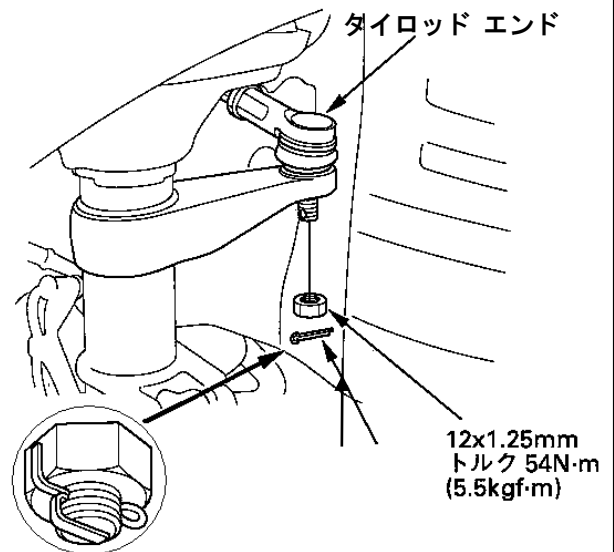
9.8N・m[1.0kgf・m]

8×1.25mm

22N・m[2.2kgf・m]



- ④タイロッド エンドをダンパに取付け、ナットを仮締めする。(規定トルクにて締め付け後、付属の割りピンを取付け、下図のような形に折り曲げる。)



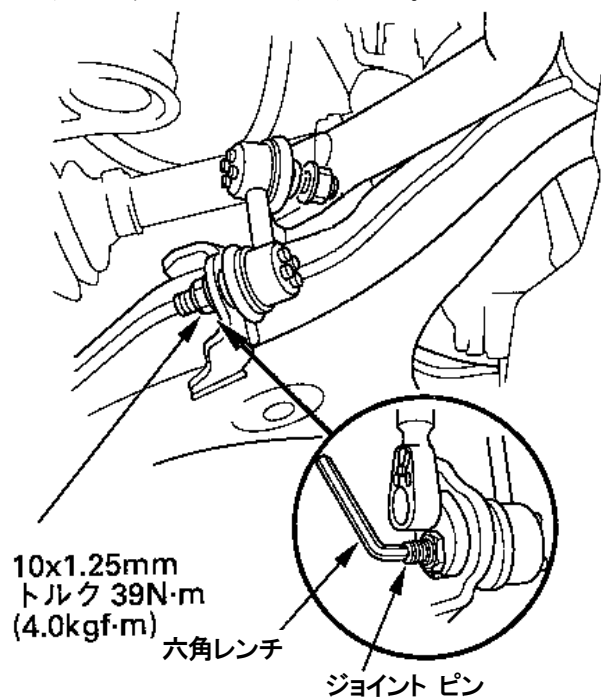
- ⑤スタビライザ リンクのジョイント ピンを可動範囲の中央にしてロア アームと接続しフランジナットで仮締めする。

- ⑥ロアアームにジャッキを掛け、フロントサスペンションを持上げて車重をかける。

※ロアアームのボール ジョイント ピン先端にジャッキをかけないこと。

※ロアアームのボールジョイント部に衝撃を与えないよう慎重にジャッキアップすること。

- ⑦六角レンチでジョイント ピンを保持しフランジナットを規定トルクで締め付ける。



- ⑧ダンパ上部、ダンパ下部、タイロッドエンドのボルト、ナットを規定トルクで締め付ける。

- ⑨フロントホイールを取付ける。

ホイール ナット トルク 108N・m[11.0kgf・m]

- ⑩フロントホイールアライメントを点検し、必要ならば調整する。（基準値については10ページを参照）

II. リヤダンパの車両への組み込み

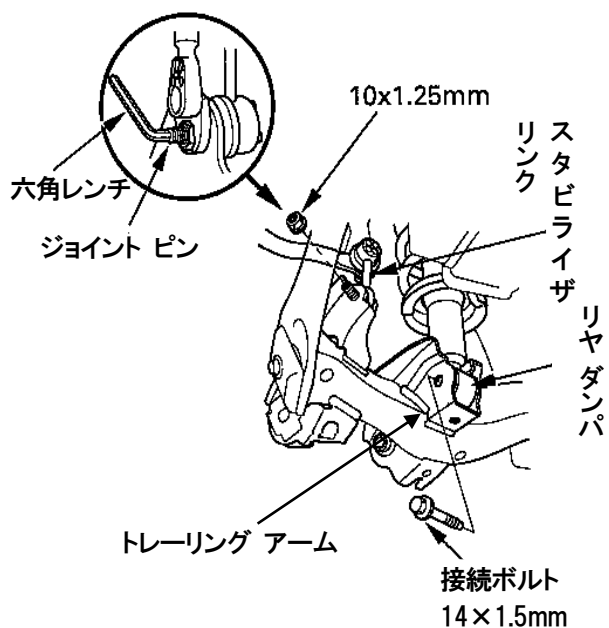
STDリヤダンパの取り外し

①リヤホイールを取り外す。

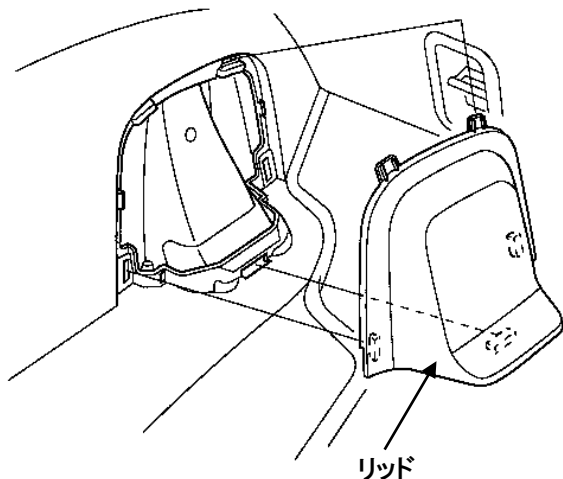
②ヘッドライトオートレベリングシステム装備車はリヤダンパからリヤヘッドライトレベリングセンサを取り外す。

※取り外したナットは再使用しないこと。

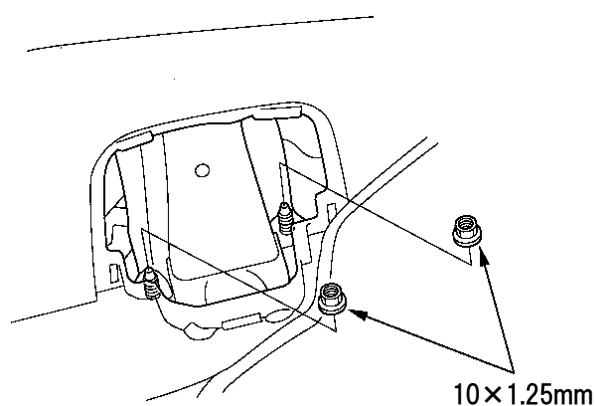
③リヤダンパとトレーリングアームの接続ボルトを外し、ジョイントピンを六角レンチで保持してナットを外し、スタビライザリンクとトレーリングアームの接続を外す。



④室内のリヤサイドライニングからリッドを外す。

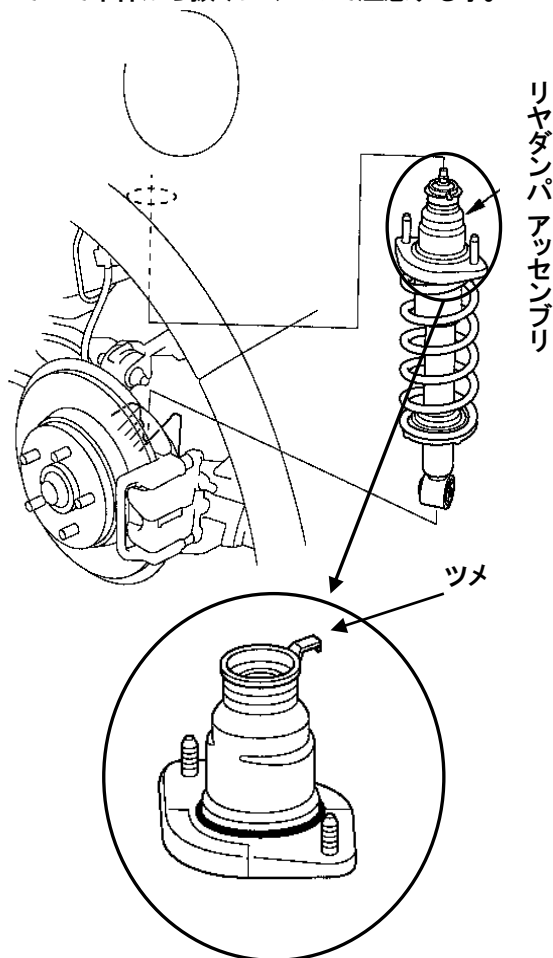


⑤ダンパ上部の取付けナットを外す。



⑥トレーリングアームを押し下げリヤダンパアセンブリを取り外す。

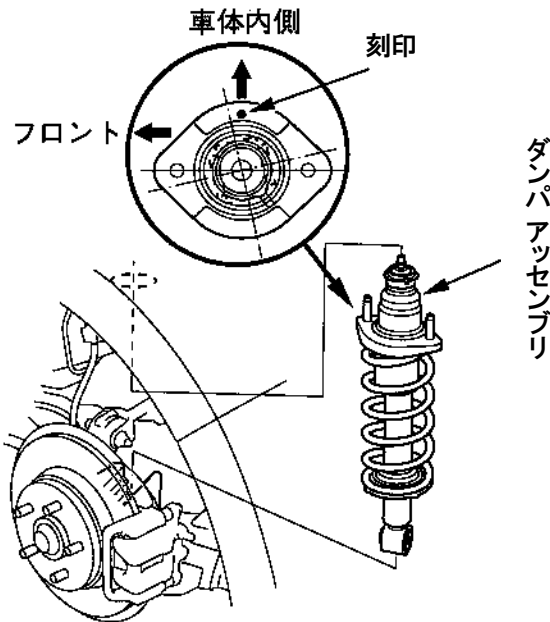
※リヤダンパマウンティングベースにはツメが付いていて車体から抜けにくいので注意する事。



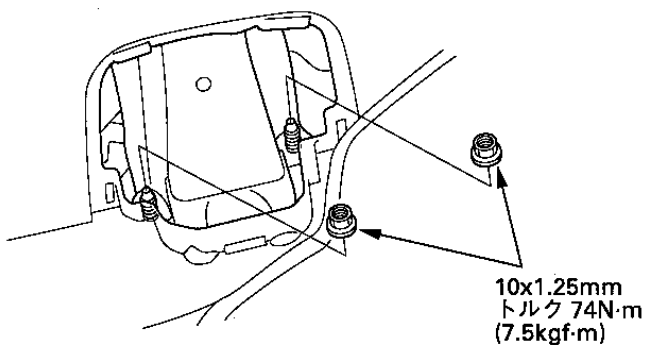
無限リヤダンパの取付け

- ①ダンパ マウンティング ベース上面の刻印を車体内側に向け、ダンパ アセンブリを車体に組み付ける。

※先にダンパ上面を車体に差込み、トレーリング アームを押し下げながらダンパ下面をトレーリング アームに接続するとよい。

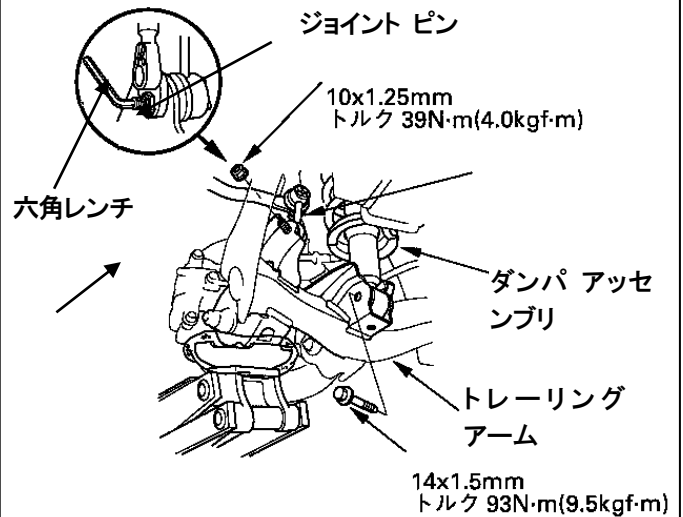


- ②ダンパ上部の取付けナットを仮締めする。



- ③トレーリング アームの本体部の下にウェスなどを介してジャッキを当て、トレーリング アームを支える。

- ④ダンパ下部とトレーリング アームを接続し、ダンパ取付けボルトを仮締めする。



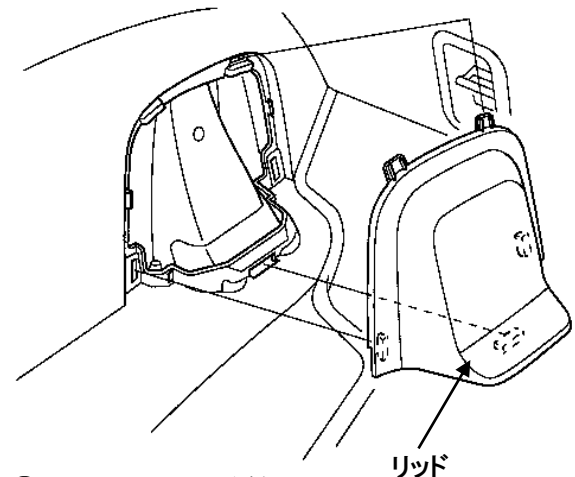
- ⑤上図のようにジョイントピンを六角レンチで保持してトレーリング アームとスタビライザ リンクの接続ナットを仮締めする。

- ⑥ジャッキでサスペンションを持ち上げて車重をかけ、取付ボルトおよびナットを規定トルクで締め付ける。

- ⑦ヘッド ライト オートレベリング システム装備車
はリヤ ダンパとリヤ ヘッドライト レベリング センサを付属のセルフロック ナットを用いて接続する。

締め付けトルク 9.8N・m [1.0kgf・m]

- ⑧室内のリヤ サイド ライニングにリッドを取付ける。



- ⑨リヤホイールを取付ける。
ホイール ナット トルク 108N・m [11.0kgf・m]

- ⑩リヤ ホイールアライメントを点検し、必要な場合は調整をする。

※無限スポーツサスキット組み込み後は、STDサスペンション組み込み時よりも車高が下がるので、ジャッキをおろす際は、十分注意すること。

	キャンバー(°)	キャスター(°)	トータルトー(mm)
前輪	0° 00' ±45'	3° 40' ±1°	イン0 ±3
後輪	-0° 55' ±45'		イン1 +2/-1

⚠ 使用上の注意

- ・取り付け直後は極端な悪路での走行や急激な運転操作をさけて慣らし運転をし、異音やガタつきがないことを確認してください。(100～300kmを目安に一般道で慣らし走行することで各部を馴染ませ、より安定した性能を維持することができます。)
- ・定期的にボルト、ナット類のゆるみ、ガタ等を点検し、取り付け状態を確認して下さい。
- ・本製品は純正品に比べスポーツ走行を意識したセッティングの為下記のような音が出る場合がありますが異常ではありません。
 ゴムがこする様な「ギュッ、ギュッ」音・・・本製品はローダウン設計の為、リヤスプリングの線間密着音を防止する為のラバーチューブがスプリングに巻いてあります。走行時このゴム同士がこする事で音が出る場合がありますが仕様上のものであり、異常ではありません。
 ダンパーの作動音「シュッまたはコッ」音・・・本製品は純正品に比べ減衰力を高く設定している為ダンパーの作動音が聞こえる場合がありますが異常ではありません。
- ・経年変化等によりサスペンションキットの機能を十分果たさないと判断した場合は、販売店に相談し、新品に交換する等して下さい。※本製品は非分解式のためオーバーホールを行う事はできません。

- ・本製品は補修用として、ダンパー A S S Y 単位での購入が可能です。お買い求めの際はお近くのホンダ ディーラーもしくは無限製品取扱店にご相談下さい。
- ・商品の管理には万全を期しておりますが、万が一問題が発生した場合は下記にご連絡下さい。

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

株式会社 M-T E C 商品事業部 営業課

TEL. 048-462-3131 FAX. 048-462-3121 【営業時間 9:00～18:00】